



関西広域連合圏域における高病原性鳥インフルエンザの発生について

令和8年2月28日
広域防災局

今シーズンの関西広域連合圏域における高病原性鳥インフルエンザの発生状況は、以下1に記載のとおり、12月2日の鳥取県米子市、12月16日及び1月8日の兵庫県姫路市、12月24日の京都府亀岡市、1月13日の三重県津市の養鶏場で発生しました（家きんにおける事例は、今シーズン国内13道府県18例、うち関西広域連合圏域は5例）。

広域連合では、令和2年度から警戒本部（本部長：広域防災局長）を設置しており、まん延防止対策として、防疫措置状況等について情報収集し、構成団体・連携県間で情報共有を行っています。

1 関西広域連合圏域における発生府県の対応状況（2月26日（木））

項目	鳥取県	兵庫県		京都府	三重県
体制（対策本部）	12月1日設置 12月28日解散	12月16日設置 2月2日廃止		12月16日設置	1月12日設置 2月13日解散
疑似患畜判定日	12月2日	12月16日	1月8日	12月24日	1月13日
所在地	米子市	姫路市	姫路市	亀岡市	津市
飼養羽数	約7.5万羽	約24万羽	約15.5万羽	約28万羽	約2.5万羽
殺処分完了日	12月4日	12月20日	1月11日	12月30日	1月13日
埋焼却完了日	埋却 12月6日	焼却 12月30日	焼却 1月26日	焼却 実施中	埋却 1月14日
防疫措置完了日	12月6日	12月21日	1月11日	12月30日	1月15日
10km以内周辺農場（うち3km以内）	9戸（4戸）	30戸（2戸）	30戸（0戸）	2戸（0戸）	7戸（3戸）
消毒ポイント設置（最大）	4箇所	4箇所	5箇所	4箇所	4箇所
対策本部会議等	7回	2回		3回※	3回
自衛隊派遣	—	—	—	—	—

●主な防疫措置

※別途、兵庫県事案を受け1回開催

- 1 飼養家きんの殺処分及び埋却・焼却、鶏糞・飼料等の処理及び鶏舎等の消毒
- 2 農場から半径3km以内を移動制限区域、半径3kmから10km以内を搬出制限区域の設定等
- 3 移動制限区域内の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施
- 4 感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒強化

2 関西広域連合の体制・対応

(1) 体制

関西広域連合特定家畜伝染病警戒本部（令和2年11月5日設置、本部長：広域防災局長）

12月2日（火）令和7年度第1回警戒本部会議〈鳥取県事案〉（書面）
 “ 令和7年度第2回警戒本部会議〈 “ 〉（ “ ）
 12月4日（木）令和7年度第3回警戒本部会議〈 “ 〉（ “ ）
 12月8日（月）令和7年度第4回警戒本部会議〈 “ 〉（ “ ）
 12月16日（火）令和7年度第5回警戒本部会議〈兵庫県事案〉（ “ ）
 12月24日（水）令和7年度第6回警戒本部会議〈京都府事案〉（ “ ）
 1月13日（火）令和7年度第7回警戒本部会議〈三重県事案〉（ “ ）

(2) 主な対応

関西広域連合圏域におけるまん延を防止するため、防疫措置状況等について情報収集し、構成団体・連携県間で情報共有を実施。

【参考1】その他の今シーズンの家きんの陽性事例（令和8年2月25日現在）

項目	北海道		新潟県		宮崎県	岡山県
疑似患畜判定日	10月22日	11月2日	11月4日	11月9日	11月22日	12月20日
所在地	白老町	恵庭市	胎内市	胎内市	日向市	津山市
飼養羽数	採卵鶏 約45.9万羽	採卵鶏 約23.6万羽	採卵鶏 約63万羽	採卵鶏 約28万羽	肉用鶏 約4.8万羽	採卵鶏 約43万羽
防疫措置完了日	11月2日	11月10日	11月18日	11月18日	11月23日	12月30日

項目	茨城県	北海道	埼玉県	宮崎県	香川県	岐阜県
疑似患畜判定日	12月25日	12月29日	12月30日	1月2日	1月10日	1月22日
所在地	城里町	由仁町	嵐山町	延岡市	東かがわ市	関市
飼養羽数	採卵鶏 約97万羽	採卵鶏 約0.6万羽	採卵鶏 約24万羽	採卵鶏 約0.6万羽	採卵鶏 約2.4万羽	肉用鶏 約2万羽
防疫措置完了日	1月5日	12月30日	1月5日	1月2日	1月12日	1月24日

項目	千葉県		岩手県
疑似患畜判定日	1月27日	2月20日	2月21日
所在地	旭市	旭市	金ヶ崎町
飼養羽数	うずら 約10.8万羽	採卵鶏 約8万羽	採卵鶏 約56万羽
防疫措置完了日	1月29日	2月24日	—

【参考2】昨シーズンの家きんの陽性事例（令和7年7月4日0時現在）

- ・全国14道県51事例・殺処分数約932万羽
- ・うち関西広域連合圏域は発生なし